

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。



みんななかよく「おやこDE広場 にこにこキッズ」

6月定例会

平成23年6月定例会を6月8日から27日まで開催しました。今定例会では、まず市長から提出された専決処分の議案3件を承認し、さらに、一般議案3件と市民の方々から提出された陳情を、各委員会で審査しました。

最終日には、これらの案件のほか議員提出議案が上程され、採決しました。(4面に審議結果を掲載)

なお、市政に関する一般質問は、36人の議員が行いました。

主な議案の概要

- ◎議案第1号 専決処分の報告及び承認について(平成22年度松戸市一般会計補正予算(第5回))
老人福祉施設に係る国の補助制度の改正に伴い、交付金が追加決定されたことから、予算に1千万円を追加し、総額12億7千666万7千円とする。
- ◎議案第2号 専決処分の報告及び承認について(松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)
出産育児一時金の額を42万円に恒久化し、国民健康保険料の賦課限度額を引き上げ、中間所得者層の負担軽減を図る。
- ◎議案第3号 専決処分の報告及び承認について(災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について)
東日本大震災に関する法律等が
- ◎議案第4号 平成23年度松戸市一般会計補正予算(第1回)
東日本大震災からの復旧と今後の防災対策を強化し、緊急に措置する必要が生じた事業を計上するため、予算に6億7千59万9千円を追加し、総額12億6千666万2千599千円とする。
- ◎議案第5号 松戸市立学校及び松戸市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
政令の改正に準じ、介護補償の額の引き下げを行う。
- ◎議案第6号 松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定について
非紹介患者の初診加算料を、現行の千円から2千円に引き上げることに伴い、他の同規模病院との均衡を図る。

福島第一原発事故への責任ある対応を求める決議

東日本大震災に端を発した東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の問題は、原発周辺地域のみならず各地に深刻な影響をもたらしており、首都圏においても住居地域の放射線量の不安が広がっている。

本市においても、市民の不安の声を受けて独自に測定を始めたが、現状で行うことのできる測定はあくまでも簡易的なものであり、放射線に関する見識についても国を超える専門的知見は、現在のところ持ち合わせていない。従って、測定により得られた結果に対して市民生活を守るための判断基準やその方策を示すことができず、とりわけ影響が大きいといわれる小さな子どもを持つ親など、市民の不安を完全に拭い去ることができてはいない。

まず、東京電力に対しては、この度の原発事故により各地に拡がった放射能に関し、事態の収束に向けてあらゆる手立てを講じ、その責任を余すことなく果たすことを強く求める。

また、この原発事故への総合的な対応については、第一義的には国の責任であるため、国に対して各地のモニタリングの強化や安全基準の明示など、早急に必要な対策を講じるよう強く求める。

同時に、市民の不安が完全に拭い去れていない現状を鑑み、千葉県の役割、本市の役割、市民の役割、それぞれの役割について認識を共有する必要性がある。

従って、本市は引き続き放射線の独自測定と数値の公表に際して、全ての被ばくは社会的、経済的要因を考慮に入れながら、合理的に達成可能な限り低く抑えるべきであるという原則に基づき、市民の安心・安全の確保に最大限努めるとともに、必要な場合は除染等も含めた最善の対応策の検討をし、実施するよう強く求めるものであり、市議会としてここに決議する。

千葉県松戸市議会

一般質問

6月定例会では、36人の議員が一般質問をしました。一般質問は、市政の諸問題や将来の見通しなどについて、市の考えを聞くものです。

会議の詳しい内容は、8月下旬より図書館本館、分館、行政サービスセンターや市議会ホームページでご覧いただけます。
また、本会議の様子をインターネット議会中継で配信しています。

(会派名の略称)
政策グループまつど未来 ↓ まつど未来
民主・市民クラブ ↓ 民主・市民

「ゆるキャラ」でまつどのPRを

問 松戸市をおしゃれで風格ある街にするために、市のPRと地域活性化をサポートする本市オリジナルの「ゆるキャラ」を採用してはどうか。

答 市のイメージアップ実現に向けて、庁内における広報の現状把握と広報戦略の策定準備を進めている。今後の都市間競争を勝ち抜くためには、都市ブランドの構築が不可欠であると考えており、本市オリジナルの「ゆるキャラ」を採用することも含め、最も効果的な戦略を検討していきたい。

市立病院の早期建設を

公明党 石川 龍之

問 病院関係者へのアンケート調査の結果、病院建て替え問題が早期解決しなければ、退職する予定の医師が60名近くいた。建て替えの方針をいつまでに決定するか。

答 6月末に、複数の構想案を議会へ提出し、市立病院建設検討特別委員会での審査を経て、できるだけ早く議会の承認を得たいと考えている。複数の構想案は、答申を尊重しつつ、早く、安く建設す

市長の退職金廃止条例は

松政クラブ 小沢 暁民

問 市長の退職金廃止条例案は、具体的にいつ議会に提出するのか。

答 市長の退職金の廃止については、マネフェストの一つでもあり、廃止することに関して、現在も気持ちに変化はない。時期については、「現在の市長に対しては退職金を支給しない」という内容の特例条例を、今年の12月議会までに提出する予定である。

市民への放射線の安全対策は

市民力 山中 啓之

問 東日本大震災における放射線対策について、市民の安全安心はどうすれば実現すると考えるか。

答 簡易測定器により5月23日から独自測定を開始している。測定結果の公表にあたっては、単に測定した数値のみを公表するのではなく、市民の不安を解消するため、国から示されている目安の値や市の対応を併せて公表した。子どもは、放射能の影響を受けやすいことから、子どもが利用する施設を優先に測定を行っていく。

待避児童・生徒の不安解消のために

無所属 中田 京

問 災害時に帰宅困難者が多発する状態となった際の待避児童・生徒の不安の解消には、地域との連携が必要と思うがどうか。

答 地域防災計画案では、児童・生徒等は保護者の引き取りがあるまで保護し、安全を確保することとしている。また、下校した子ども達には、ご近所の方と保護者で事前に対応を確認しておく等が必要である。災害時の待避児童・生徒には、地域の方々のやさしい心づかいが重要と考える。

東日本大震災を教訓に

公明党 織原 正幸

問 今回の震災を教訓に地域防災計画案の地震被害想定をどう見直すか、基本的な方針を伺う。

答 この震災では、帰宅困難者や道路渋滞時の物資搬送の対策等、新たな対応の必要性を認識した。本市では、松戸駅近隣の小中学校等を避難所として開設し、帰宅困難となった方へ対応した。今後は、国の「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」や県の対応を注視し、被害想定を検討したいと考える。

マンションの物資備蓄をルール化へ

民主・市民 関根 ジロー

問 東京都中央区と同様、マンションの建物内に災害対策用の備蓄スペースを設けるようルール化できないか。

答 マンション管理組合では、マンションの敷地内に備蓄倉庫を設置している例はあるが、マンションの建物内に備蓄スペースが確保されていない事については、認

被災地への救援物資輸送は

松政クラブ 田居 照康

問 この震災で市が行った救援物資輸送等の内容と問題点を伺う。

答 市では、被災者の受け入れに重点を置いていた。被災地へは、市長が南相馬市を訪問した際に、飲料水やブルーシート等を持参した。また、被災地からの要請を受けたボランティア等の車両には、高速道路の無料証明書を発行した。輸送の問題点は、道路被害による渋滞等で、物流への影響が大きかったと認識している。

放射性物質に関する情報周知と注意の徹底を

日本共産党 宇津野 史行

問 放射能汚染問題の周知・注意喚起は、各学校の判断だけに委ねるのではなく、一律に実施すべきでは、また、電子情報を得られない市民への周知方法は、

答 教育委員会からの周知は、随時実施している。各学校は地域の実態にあつた適切な情報を保護者等へ周知し、共有も図りながら、注意喚起をしていきたい。また、電子情報が得られない方へは、毎日、「災害対策ニュース」を公共施設に掲示し、正確な情報提供を行った。

街路樹の現状と管理について

松政クラブ 石井 勇

問 六高台にある桜並木の管理の現状と今後について伺う。

答 管理の現状は、枯れ枝、交通障害となる枝等の剪定や薬剤散布等きめ細かく対応している。近

看護師の現場復帰への支援を

公明党 諸角 由美

問 看護学校を活用して、長期間離職している看護師が、現場復帰するための支援はできないか。

答 看護学校は、看護師を養成するためのもので、現行制度では再就業を目的とするカリキュラムを組み込むことは難しい。現在、現場復帰への支援としては、千葉県看護協会が行う「看護職再就業講習会」制度を活用している。本市が長期間離職していた看護師を採用した際には、各種研修等を行い、支援体制を整えている。



患者さんの笑顔のために

豪雨が心配される時期の浸水対策は

公明党 伊東 英一

問 浸水被害への事前対応策として排水ポンプや排水口の点検があるが、現状と取り組みを伺う。

答 排水ポンプは、降雨期を控えた春に職員が試運転を行い、秋

地震による落下物から子どもを守るためには

公明党 飯箸 公明

問 今回の地震による学校施設天井材や窓ガラス等「非構造部材」の被害状況と耐震対策を伺う。

答 主な被害には、窓ガラス34件、天井材7件、外壁パネル6件のひび割れや落下等があった。その対策として、窓ガラスは耐震改修時に、強化ガラスとの交換や飛散防止フィルムを貼り、吊り下げ式の照明器具は、アスベスト対策工事の際に天井面への直付け式に改修している。今後も落下等の恐れがあるところの点検強化や早期対応に努めたい。

防災無線が聞き取りにくい時のために

公明党 山沢 誠

問 緊急で重要な情報を知らせる固定系防災無線の放送が、聞き取りにくい、聞こえないとの声がある。そこで、電話をすれば録音テープで、同じ内容を受話器や携帯電話から聞くことができる「音声自動サービス」の導入について、見解を伺う。

答 電話により、録音テープで放送内容の確認ができる「音声自動サービス」については、今後導入に向けて検討していきたい。

国体の盛り上がり今後のスポーツ振興に

松政クラブ 張替 勝雄

問 平成22年9月から10月にか

けて、国民体育大会が37年ぶりに千葉県で開催された。この国体をどう評価し、今後のスポーツ振興に反映させるのか。

答 本市では、自転車(トラック・レース)とフェンシングの競技会が開催され、まさに市民が丸となって取り組み、素晴らしい夢と感動を体験した。この経験を今後のスポーツイベントに生かし、「スポーツ振興マスタープラン」にもある指導者の育成を推進すべく、スポーツに対する市民意識の高揚、生涯スポーツ等の活性化を図りたい。

中学卒業までの医療費助成を

日本共産党 山口 正子

問 義務教育期間である中学校卒業までの医療費助成は、千葉県内でも実施する自治体が増えてきたが、市の見解を伺う。

答 本市では、千葉県に先んじ、平成22年12月に助成対象を6年生まで拡大し、自己負担額200円所得制限なしという松戸方式を実施したところである。当面は現行の制度を維持しつつ、引き続き県に対し、制度の充実を強く要望していきたい。

地域間競争を勝ち抜くため三世交代のまちづくりを

松政クラブ 杉山 由祥

問 松戸市に社会の担い手の中心となる世代を呼び込むためには、三世代が一緒に地域に住めるよう、建物への助成制度や税の減免等の支援に踏み切るべきではないか。

答 30代の子育て世代を呼び込むことは、喫緊の課題である。そのためにも、親のサポートを受けられ、親の介護などの心配が少ない三世代同居や近隣居住も重要と考える。今後、三世代同居世帯に対する助成制度等、あらゆる角度から手法・効果等を研究していく。

子宮頸がん予防の基本である
検診受診率を上げるために

松政クラブ 木村 みね子

問 全国に先駆け、子宮頸がん検診の未受診者に対し、手紙や電話による松戸発信のコール・リコール（受診勧奨）制度導入の考えを伺う。

答 平成22年度より近隣市に先駆け子宮頸がん予防ワクチン接種事業を実施している。また、検診無料クーポン券の発行と検診手帳を送付し、受診促進と健康意識の普及を図ってきたが、積極的な受診には至っていない。今後は、先進事例を参考に調査研究を行い、実施に向け検討したい。

民生委員の活動は

民主・社民 安藤 淳子

問 民生委員による地域防災活動とひとり親家庭のフォロー状況を伺う。

答 地域防災活動では、各地域の民生委員で構成された「防災・災害対策連絡会」で、防災・災害に関する研修・視察や協議を通じ、情報の共有化に取り組んでいる。ひとり親家庭のフォロー状況は、子育てに関する問題等、ひとり親の悩み事などを聞き、その内容に応じて家庭児童相談室や柏児童相談所などを紹介し、対応している。

戸定邸や松雲亭で
結婚式を

絆（キズナ） 鈴木 大介

問 戸定邸や松雲亭で、挙式や披露宴を行うことはできないか。

答 戸定邸は文化財で保存する以前は、簡易結婚式場としての利用もあった。現在は、松雲亭と同様にそのような貸し出しはしていない。しかし、市内で結婚式を挙げ、地元とのつながりを深めても

らうことは、大切なことである。今後、条例上の設置目的、用途、利用形態などを考慮し、地域への貢献、活性化の観点から、施設の創造的な活用方法を検討したい。

「地域安全マップ」で
子どもの安全を

公明党 矢部 愛子

問 ハザードマップ等による危険地域の児童・生徒の防災教育はどのように行っているか。

答 各学校では、地域の状況や安全マップ等に記載し、確認している状況である。平成22年度には「地域安全マップ」の推進校として、松飛台小学校が授業展開をした。23年度は、全ての小学校の4年生を中心に「地域安全マップ」の作成に取り組み、低学年へ伝える活動を通して、学校全体に広げていく考えである。

小金城趾駅東西の
自由通路の確保を

まつど未来 市川 恵一

問 大金平県営住宅の2階部分は、小金城趾駅改札口から人道橋へとつながっており、利用者も多い。県営住宅解体に伴う駅舎入口等の改修の進捗状況を伺う。

答 県に確認したところ、平成24年度に解体工事を実施したい意向はあるが、関係機関との調整が済んでいないことから、スケジュールは未確定との事である。今後、関係機関との協議を通して、駅東西の往来ができるよう、働きかけていきたい。

市民が安心して
横断できる交差点を

日本共産党 高木 健

問 小金原の殿内交差点と行政センター前交差点のスクランブル化の進捗状況を伺う。

答 千葉県警察本部では、周辺

の交通量調査を実施したところ、両交差点をスクランブル化しても周辺に交通渋滞が起るなどの問題は無いとの結論が出された。このことから、両交差点とも、より歩行者の安全を重視したスクランブル式交差点に変更する準備を進めているとのことである。

秋山区画整理事業の
振興策は

絆（キズナ） 大橋 博

問 秋山区画整理事業の特質を生かした価値向上につながる振興策への取り組みは。

答 この区域は地盤が比較的良好で、鉄道や道路など、交通の利便性に優れている。また、バリアフリー化など、子育て世代や高齢者にやさしいまちづくりを目指しており、まちの魅力として特性の高い地域と認識している。ホームページやパンフレット、北総鉄道の車内広告等を媒介として、まちの振興に貢献したいと考えている。

市民のニーズに応え
投票率の向上を

公明党 渡辺 美喜子

問 期日前投票宣誓書は、投票所整理券と一緒に印刷されている方が便利ではないかとの声が多いが、実施する考えは。

答 昨今における他市の動向や市民のニーズ、そして投票率の向上ということを考えた場合、期日前投票宣誓書を投票所整理券と一緒に印刷することは、大変有効なものであると考える。このことから、他市の例を参考にしながら、次回の選挙より実施していきたい。

介護支援ボランティアで
商業の活性化を

市民クラブ 岩堀 研嗣

問 介護支援ボランティア制度では、ポイントを市内商店街で使

える商品券や松戸産の野菜と交換できるようにし、商業活性化に寄与する仕組みを目指す考えは。

答 現在、事業の実施に向けて検討会の開催や関係機関との協議を始めたところである。今後は、特別養護老人ホームなど、受け入れ施設との調整を図っていく。なお、制度構築については、先進市の状況等を参考に、元気な高齢者が増えるような施策にしたい。

震災に備え
屋内での安全対策を

日本共産党 高橋 妙子

問 災害時の屋内安全対策として、家具転倒防止器具設置促進を制度化できないか。

答 この器具の設置が、地震対策の有効な手段であることは十分認識している。啓発については平成22年度より特に力を入れ、防災課が行うパートナー講座、リーフレットの作成やDVDの配付等、積極的に取り組んでいる。補助については、近隣市の状況を十分確認し、実施に向けた調査・研究をしていく。

シティブロモーション・
シティセールスについて

絆（キズナ） 川井 清晶

問 「ご当地ナンバーデザインプレート」の検討状況は。

答 ご当地ナンバーは、排気量が125cc以下のバイク等を対象に交付するナンバープレートのデザインを工夫することで、観光振興や名物の知名度向上を目指すことができる。県内でも香取市がデザインを公募し、伊能忠敬のシルエットが選ばれ、新聞等に取り上げられた。今後、本市もイメージアップを図る広報戦略の一つとして引き続き検討していく。

文化ホールを
有効利用するために

絆（キズナ） 杉浦 誠一

問 文化ホールの利用が少ないようだが、利用される方へ料金体系や利用方法等のアンケート調査をして問題点を整理し、利用促進を図ってはどうか。

答 平成22年に社会教育団体等に対して、社会教育施設等に関するアンケート調査を実施している。今後は、アンケート調査に文化ホールのあるべき姿、施設に関するニーズ等の項目を加えて実施することにより、更なる利用率の向上に努めたい。

地域で災害対策を

民主・社民 一階堂 剛

問 自主防災組織拡大の支援策と資材の充実をどう考えているか。

答 自主防災組織結成率は、防災計画案で100%を目標としているが、平成23年4月1日現在では、86.9%である。今後も、未結成の町会等の団体に対し、積極的にパートナー講座やホームページ等を通じて啓発していく。また、自主防災組織が防災資器材を購入する場合は、「松戸市自主防災組織交付要綱」に基づき補助しているが、重要性を鑑み、さらに充実を図りたい。

商店会活性化のために

市民力 原 裕二

問 本市の具体的な施策を伺う。

答 本市では、商店会が行う販売促進活動、賑わいを創出する共同施設整備事業、空き店舗対策事業などへの支援や、環境とニーズの変化に対応するための講演会も実施している。更には、商店会の法人化に対しても、より一層の支

援に努めたい。また、平成23年度は、プレミアム商品券発行事業を予定しており、商店会自身が効果的な販売促進活動等を行い、商店会活性化の契機としていただきたい。

都市ブランド
構築のために

市民力 海老原 弘

問 中学生による学生市役所・学生市議会を創出し、ブランドイメージの核としたらどうか。

答 中学生が自分たちのまちについて、さまざまな政策提言を行う、その実現を検討していく取り組みは、子どもたちの自治意識を醸成し、松戸に愛着を持ってもらう意義のあることと認識している。本市には、子どもモニター制度など関連する事業もあり、より良い取り組みを実行できるよう研究していく。

住宅リフォーム
助成制度の早期導入を

日本共産党 伊藤 余一郎

問 住宅リフォーム助成制度を導入し、瓦屋根の破損等、震災の被害救済にも適用させる考えは。

答 この制度を導入することには、一定の経済波及効果があると認識しており、現在、鋭意検討中である。この制度と震災対応とは、基本的に別なものと考えている。今回の震災では、市営住宅等の斡旋や情報提供、市税・保険料等の減免制度、更には給付制度や資金貸付制度等に対応を図っている。

本市のエネルギー対策は

市民力 谷口 薫

問 エネルギー対策の考えと太陽光発電システム設置費補助金の取り組みを伺う。

答 今回の原発事故により、今

され、二酸化炭素の増加が見込まれる。本市は、減CO₂大作戦の視点から、自然エネルギーを推進してきた。補助金は、他市と比べ額が少ないが、限られた予算で多くの市民が、補助金を受けられるよう考えている。今後、国の動向を踏まえ、本市の新エネルギー対策を研究したい。

文書管理について

市民クラブ 渋谷 剛士

問 公文書のデジタル化への研究はしているのか。

答 デジタル化による文書整理は有効な手段と認識している。しかし、電子的に取り扱える文書には限界があり、付属書類の地図や写真をどう扱うか、また、電子文書の原本性確保などの課題がある。今後は、行政文書の取得から廃棄まで、一貫した電子文書管理処理システムに取り組み総務省の動向を注視していきたい。

新歴史教科書について

松政クラブ 桜井 秀三

問 平成18年に教育基本法が改正され、学習指導要領も改訂された。特に社会科（公民・歴史）など、教育基本法および学習指導要領の趣旨を踏まえ、事実や史実に忠実に教科書選定を実施しているか。

答 教育委員は、各教科書の記述内容の妥当性を査定する権能は持ち合わせていない。検定済みの各教科書を総合的に比較検討しながら、最終的な意思決定をそれぞれの責任で行っていくものと考えている。



6月定例会 審議結果

番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
市長提出議案			議員提出議案		
第1号	専決処分の報告及び承認について（平成22年度松戸市一般会計補正予算（第5回））	承認 全会一致	第1号	原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を切ったプログラムの作成を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第2号	専決処分の報告及び承認について（松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について）	承認 多数意見	第2号	原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書の提出について	可決 全会一致
第3号	専決処分の報告及び承認について（災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	承認 全会一致	第3号	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書の提出について	可決 全会一致
第4号	平成23年度松戸市一般会計補正予算（第1回）	可決 多数意見	第4号	福島第一原発事故への責任ある対応を求める決議の提出について	可決 全会一致
第5号	松戸市立学校及び松戸市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	陳情		
第6号	松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	平成22年度第13号	容器包装リサイクル法を見直し、発生抑制と再使用を促進するための仕組みの検討を求める陳情	不採択 多数意見
			平成23年度第1号	「松戸市立病院建替えに関する答申書」を尊重し、早期に建設用地を確定し、市民参加で5年を目途に完成させることを求める陳情	採択 全会一致

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書
- 公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職20年以上の方が特別表彰の荣誉にそれぞれ浴されました。

- 中川 英孝 議員
長谷川 満 前議員
杉浦 正八 前議員

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、問近でご覧になってみませんか。

- 議会を傍聴するには
- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を行います。
 - (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
 - (3) 係員が傍聴席にご案内します。
 - (4) 車椅子等でお越しの方は、係員にお申し出ください。

※会期以外でも常任委員会や特別委員会を開催することがあります。

問い合わせ先 議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

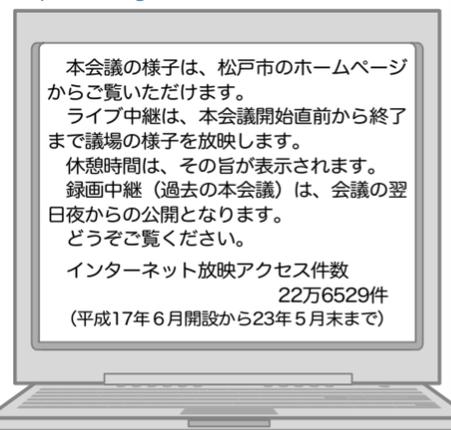
9月定例会の開催予定

平成23年9月定例会は、9月1日(木)から27日(火)まで開催される予定です。請願・陳情は8月23日(火)正午までに提出してください。

期日	主な内容
9月1日(木)	招集日・本会議 (議案の提案理由説明)
2日(金)	本会議(一般質問)
5日(月)	〃
6日(火)	〃
7日(水)	本会議 (一般質問・議案質疑)
8日(木)	予備日
12日(月)	総務財務常任委員会
13日(火)	健康福祉常任委員会
14日(水)	教育経済常任委員会
15日(木)	都市整備常任委員会
16日(金)	決算審査特別委員会
20日(火)	〃
21日(水)	〃
22日(木)	〃
27日(火)	本会議(議案等の採決)

※予備日には、一般質問を行う場合があります。

【インターネット放映のURL】
<http://www.gikaitv.net/dvl-matsudo/2.html>



本会議のインターネット放映
平成22年6月定例会からライブ放映も
行っています。

政務調査費を公開中

平成22年度政務調査費の収支報告書をまつど市議会のホームページに掲載しています。
各議員の収支報告書の詳細については、議会事務局で閲覧することができま。

問い合わせ先 議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしています。
詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター
(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111
住所 松戸市五香西3-7-1

議員の寄附行為の禁止

政治家(後援団体)が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。
たとえば・・・

- お祭りや運動会など、地域の行事への寄附や差し入れ(催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合を除く。)
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状(答礼のための自筆は除く。)

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものの案内をする場合には、会費を必ず明示して通知してください。



編集の窓

暑中お見舞い申し上げます。
東日本大震災から5か月近くが経過しますが、今なお被災地では、多くの方が避難生活を余儀なくされています。復旧・復興への取り組みも始まり、自治体の政策の中心に何を置くのか、地方自治のあり方が注目されています。今回の大震災では、全国的な規模で大きな影響を受けました。

松戸市でも住民のいのちを最優先に、防災対策の見直しや放射能問題について、議会と行政が一体となって検討し、取り組んでまいります。
今年の夏は、梅雨が明ける前から暑くなり、各家庭も事業所も電力不足を懸念して、いろいろと節電の工夫をしなければなりません。本当に大変な今、国を挙げて子どもたちに安全な環境を残すこと、人間的な本当の豊かさとは何かを考えるときであると思います。

次回の発行予定は
10月30日(日)です